



# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月7日

上場会社名 新東工業株式会社  
コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
TEL 052-582-9211

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	25,766	4.2	535	23.8	720	50.0	254	73.6
2024年3月期第1四半期	24,716	0.1	702	2,325.1	1,439	62.6	964	98.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,877百万円 (56.2%) 2024年3月期第1四半期 4,285百万円 (183.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	4.87	
2024年3月期第1四半期	18.43	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	236,419	127,026	50.6	2,282.20
2024年3月期	187,963	127,140	64.1	2,301.09

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 119,578百万円 2024年3月期 120,568百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		20.00		24.00	44.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		22.00		22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,000	21.2	2,700	52.6	2,800	3.7	1,800	1.5	34.35
通期	147,000	27.3	5,800	7.2	6,200	17.4	4,000	54.1	76.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 29 社 (社名) Elastikos社及びその子会社 28社、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	54,580,928 株	2024年3月期	54,580,928 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期1Q	2,184,854 株	2024年3月期	2,184,638 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	52,396,181 株	2024年3月期1Q	52,354,008 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界情勢は、中東地域の緊迫化の高まりとロシアによるウクライナ侵攻が長期化する中で、欧州では賃金上昇圧力を促す物価高の加速やサプライチェーンの制約の影響による需要抑制を促すリスクがあり、先行きは不透明な状況にあります。一方で米国では、金融引き締めの中でも産業政策を追い風とする堅調な設備投資を背景に緩やかな成長が見込まれ、中国では、不動産市場低迷の中で、消費の急回復は見込み難いものの、政府による経済刺激策により、市況は堅調に推移しており、世界経済の動向は国・地域毎にばらつきがある状況にあります。

わが国においては、企業の設備投資はカーボンニュートラルやDX、省力化などの課題解決を目的とした投資に意欲的ながらも、堅調な米国経済がもたらす大幅な円安の進行に歯止めがかからず、広範囲な物価上昇により消費マインドが低下し、景況は依然低調に推移しました。

当社グループの事業環境につきましては、主要なお客様である自動車産業では、カーメーカーの品質不正に伴う生産調整の影響から徐々に回復基調にあるとともに、半導体産業は活発な動きが持続し、電子業界向けを中心に部品・消耗品が堅調に推移しました。

こうした情勢下、受注高は対前年同期比1,581百万円増加の33,647百万円(前年同四半期比4.9%増)、売上高は同1,049百万円増加の25,766百万円(同4.2%増)、受注残高は同8,952百万円増加の68,474百万円(同15.0%増)となりました。収益につきましては営業利益は同167百万円減少の535百万円(同23.8%減)、経常利益は同719百万円減少の720百万円(同50.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は同709百万円減少の254百万円(同73.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

#### [表面処理事業]

売上高は、消耗品の販売量が軟調に推移し、また機械装置も製鋼分野等で低調であったため、同501百万円減少の10,623百万円(同4.5%減)となりました。営業利益は売上高の減少により同381百万円減少の411百万円(同48.1%減)となりました。

なお、受注高は半導体の旺盛な需要による電子関連向けやインフラ関連の建設機械向けでの表面処理装置が堅調に推移したことで、同1,188百万円増の12,583百万円(同10.4%増)、受注残高は同2,057百万円増の10,751百万円(同23.7%増)となりました。

#### [鑄造事業]

国内では、大型プラント設備の売上が低調に推移しましたが、海外では、生型造型機案件を中心とした売上が順調に推移したことにより、同1,298百万円増加の9,428百万円(同16.0%増)となりました。営業損益は、引き続き原材料費・エネルギー費・各種購入品価格の高騰の影響があったものの増収効果により、同56百万円増加の12百万円の利益(前年同四半期は44百万円の損失)となりました。

なお、受注高は国内では自動化関連機器や効率化投資、海外では自動車関連を中心に受注が増加し、同1,186百万円増加の14,309百万円(前年同四半期比9.0%増)、受注残高は同7,604百万円増加の40,463百万円(同23.1%増)となりました。

#### [環境事業]

売上高は、工作機械向け等の汎用集塵機が低調に推移、大型案件の減少等の影響により、同534百万円減少の2,014百万円(同21.0%減)となりました。営業利益は、減収の他、製造費用の増加等により同149百万円減少の76百万円(同66.0%減)となりました。

なお、受注高は同398百万円減少の2,754百万円(同12.6%減)、受注残高は同892百万円増加の6,750百万円(同15.2%増)となりました。

#### [搬送事業]

売上高は、工作機械向け、運送業界向けが堅調だったほか、物流業界向けの需要が継続し、同462百万円増加の2,014百万円(同29.8%増)となりました。営業利益は、増収効果により同126百万円増加の298百万円(同74.1%増)となりました。

なお、受注高は引き続き工作機械向けが好調で、同160百万円増加の2,110百万円(同8.2%増)、受注残高は同65百万円増加の4,643百万円(同1.4%増)となりました。

#### [特機事業]

売上高は、高圧ロールプレスが好調に推移した上、サーボシリンダも販売好調で、同180百万円増加の1,939百万円(同10.3%増)となりました。営業損益はサーボシリンダの売上増に加え原価率の改善により、同66百万円増加の23百万円の営業損失(前年同四半期は89百万円の損失)となりました。

なお、受注高は同550百万円減少の1,830百万円(前年同四半期比23.1%減)、受注残高は同1,667百万円減少の5,865百万円(同22.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、のれんの増加等により、前連結会計年度末に比べ48,455百万円増加し、236,419百万円となりました。

負債合計は、短期及び長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ48,570百万円増加し、109,392百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ114百万円減少し、127,026百万円となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末に、新たに子会社となったElastikos (France) S.A.S. の貸借対照表を連結しており、連結調整前の同社の個別の貸借対照表金額は、それぞれ資産合計55,597百万円、負債合計33,871百万円及び純資産合計21,725百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月13日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,186	35,273
受取手形、売掛金及び契約資産	38,977	45,427
有価証券	9,375	6,500
製品	4,585	10,041
仕掛品	5,853	9,051
原材料及び貯蔵品	6,665	8,903
その他	3,777	7,741
貸倒引当金	△619	△847
流動資産合計	111,801	122,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,006	17,411
機械装置及び運搬具（純額）	5,798	12,487
その他（純額）	10,552	14,410
有形固定資産合計	31,358	44,310
無形固定資産		
のれん	26	22,775
その他	1,658	5,214
無形固定資産合計	1,684	27,989
投資その他の資産		
投資有価証券	34,226	33,369
その他	8,900	8,672
貸倒引当金	△8	△13
投資その他の資産合計	43,118	42,027
固定資産合計	76,161	114,327
資産合計	187,963	236,419

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,599	17,309
短期借入金	5,473	21,928
未払法人税等	1,714	282
賞与引当金	1,978	1,587
役員賞与引当金	238	148
製品保証引当金	241	241
受注損失引当金	313	294
その他	18,329	26,583
流動負債合計	41,888	68,375
固定負債		
長期借入金	8,971	27,034
役員退職慰労引当金	545	614
退職給付に係る負債	805	1,729
資産除去債務	38	38
その他	8,573	11,601
固定負債合計	18,934	41,017
負債合計	60,822	109,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,319	6,341
利益剰余金	90,870	88,463
自己株式	△2,044	△2,044
株主資本合計	100,897	98,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,445	12,407
為替換算調整勘定	5,321	6,801
退職給付に係る調整累計額	1,904	1,857
その他の包括利益累計額合計	19,671	21,066
非支配株主持分	6,571	7,447
純資産合計	127,140	127,026
負債純資産合計	187,963	236,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	24,716	25,766
売上原価	17,561	18,114
売上総利益	7,155	7,652
販売費及び一般管理費	6,453	7,116
営業利益	702	535
営業外収益		
受取利息	119	134
受取配当金	279	281
持分法による投資利益	137	100
為替差益	165	96
その他	104	107
営業外収益合計	806	720
営業外費用		
支払利息	43	274
支払手数料	-	230
その他	25	30
営業外費用合計	69	535
経常利益	1,439	720
特別利益		
固定資産売却益	12	9
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	12	9
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産廃却損	1	10
特別損失合計	1	10
税金等調整前四半期純利益	1,450	718
法人税、住民税及び事業税	129	207
法人税等調整額	260	152
法人税等合計	390	359
四半期純利益	1,060	359
非支配株主に帰属する四半期純利益	95	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	964	254



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,060	359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,452	△22
為替換算調整勘定	700	1,512
退職給付に係る調整額	△22	△46
持分法適用会社に対する持分相当額	94	75
その他の包括利益合計	3,225	1,518
四半期包括利益	4,285	1,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,115	1,649
非支配株主に係る四半期包括利益	170	228

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更が四半期連結財務諸表及び連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	645百万円	684百万円
のれんの償却額	9	18

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	表面処 理事業	鋳造 事業	環境 事業	搬送 事業	特機 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	11,106	7,951	2,511	1,545	1,539	24,654	62	24,716	-	24,716
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	19	177	37	6	219	460	381	841	△841	-
計	11,125	8,129	2,548	1,551	1,758	25,114	444	25,558	△841	24,716
セグメント利益 又は損失(△)	793	△44	226	171	△89	1,057	11	1,068	△366	702

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△366百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△367百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	表面処 理事業	鋳造 事業	環境 事業	搬送 事業	特機 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	10,597	9,254	1,997	2,010	1,846	25,707	59	25,766	-	25,766
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	26	173	16	3	92	312	426	739	△739	-
計	10,623	9,428	2,014	2,014	1,939	26,019	485	26,505	△739	25,766
セグメント利益 又は損失(△)	411	12	76	298	△23	776	11	787	△251	535

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△251百万円には、セグメント間取引消去35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△287百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「表面処理事業」において、当第1四半期連結会計期間にElastikos (France) S.A.S.を当社の連結子会社としていくことにより、前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間の資産の金額が著しく変動しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「表面処理事業」において、当第1四半期連結会計期間にElastikos (France) S.A.S.を当社の連結子会社としていくことにより、当第1四半期連結会計期間において、のれんが22,757百万円増加しております。

なお、当該金額は、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

関連情報

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
13,898	1,933	2,642	2,413	2,045	1,783	24,716

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾・インド・韓国・アセアン諸国

(2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ

(3) ヨーロッパ……………ドイツ・トルコ

(4) 南アメリカ……………ブラジル

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
13,841	1,456	2,437	3,355	2,984	1,691	25,766

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………インド・台湾・アセアン諸国・韓国

(2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ

(3) ヨーロッパ……………トルコ・ドイツ

(4) 南アメリカ……………ブラジル

## (企業結合等関係)

## 取得による企業結合

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Elastikos (France) S. A. S.

事業の内容 投射材の製造・販売

## (2) 企業結合を行った主な理由

Elastikosグループは、フランスに拠点を置き、欧州や北南米を中心に表面処理関連製品及びサービスを展開する事業者です。Elastikosグループは技術力や質の高い技術サポートを背景に欧州や北南米のみならずインドや中国といった新興国にも多くの顧客を有しており、また近年はEコマースプラットフォームの開発やAIの活用等にも取り組んでいます。

当社は、Elastikosグループが有する欧州の顧客販売チャネルを補完的に活用することで、欧州におけるElastikosグループの知名度を起点にインドや中国等の新興国においても取引先拡大が期待できると判断し、本件契約の締結に至りました。

## (3) 企業結合日

2024年4月4日

## (4) 企業結合の法的形式

現金による株式取得

## (5) 結合後企業の名称

Elastikos (France) S. A. S.

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによります。

## 2. 連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

当第1四半期連結累計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	26,488百万円
-------	----	-----------

取得原価		26,488百万円
------	--	-----------

## 4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん

22,757百万円

当該金額は、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

## (2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

## (3) 償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。